

第31回理事会、第11回評議員会を決議の省略により行いました

6月9日に開催を予定していた第31回理事会、ならびに6月24日に開催を予定していた第11回評議員会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、定款に基づく決議の省略を画面により行いました。

第31回理事会の議案は「2019年度事業および決算報告に関する件」「『理事・監事・評議員及び顧問の報酬等支給基準規程』改定の件」「評議員会に推薦する理事候補選任の件」「評議員会に推薦する評議員候補選任の件」「資産運用委員任期満了に伴う選任の件」「事業助成審査委員任期満了に伴う選任の件」「第11回評議員会の決議の省略の件」の7件で、いずれも原案どおり承認されました。また、「資産運用報告」について画面により報

告しました。

第11回評議員会の議案は「2019年度事業および決算報告に関する件」「『理事・監事・評議員及び顧問の報酬等支給基準規程』改定の件」「評議員選任の件」「理事選任の件」の4件で、いずれも原案どおり承認されました。また、「2020年度事業計画および収支予算の概要報告」「資産運用報告」「資産運用委員選任の件」「事業助成審査委員選任の件」「第6回内部統制委員会報告」について画面により報告しました。

なお、新任の評議員として喜早冬比古氏(一般社団法人ACC専務理事)、理事として橋爪恒二郎氏(一般社団法人日本広告業協会専務理事)が選任されました。

貸借対照表
2020年3月31日現在

科目	金額 (単位:千円)
I 資産の部	
1. 流動資産	337,081
2. 固定資産	
(1) 基本財産	12,975,114
(2) 特定資産	9,920,479
(3) その他固定資産	241,731
資産合計	23,474,407
II 負債の部	
1. 流動負債	45,875
2. 固定負債	50,250
負債合計	96,125
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	21,088,508
2. 一般正味財産	2,289,772
正味財産合計	23,378,281
負債及び正味財産合計	23,474,407

正味財産増減計算書
2019年4月1日から2020年3月31日まで

科目	金額 (単位:千円)
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	506,924
特定資産運用益	63,465
受取寄付金	68,603
雑収益	2,034
経常収益計	641,027
(2) 経常費用	
事業費	533,849
管理費	88,288
経常費用計	622,137
評価損益等調整前当期経常増減額	18
評価損益等計	△ 18
当期経常増減額	—
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	6,514
(2) 経常外費用	6,514
当期経常外増減額	△ 9
当期一般正味財産増減額	△ 9
一般正味財産期首残高	2,289,772
一般正味財産期末残高	2,289,772
II 指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	482,935
特定資産運用益	197,893
基本財産評価損益等	△ 12,971,322
特定資産評価損益等	△ 564,498
一般正味財産への振替額	621,519
当期指定正味財産増減額	△ 13,476,511
指定正味財産期首残高	34,565,020
指定正味財産期末残高	21,088,508
III 正味財産期末残高	23,378,281



2019年度助成研究集の刊行

当財団は、2019年度(第53次)の助成研究成果の要旨をまとめた『助成研究集(要旨)』を刊行しました。掲載されている研究テーマ等は以下のとおりです。

助成研究成果の全文は当財団の広告

図書館内で、また概要は同図書館ホームページから検索・閲覧いただくことができます。なお、本誌のPDF版は、当財団のホームページ上でご覧いただけます。



2019年度研究助成成果一覧

【常勤研究者の部】

代表者氏名	代表者現職	研究テーマ
武部 貴則 他5名	横浜市立大学 先端医科学研究センター コミュニケーション・ デザイン・センター センター長	コミュニケーション・デザインを活用した 院内体験価値向上戦略
【継続研究】 駒谷 真美	実践女子大学 人間社会学部人間社会学科 教授	日米の親子の消費者意識を高める ～ICTを活用したPBL実践効果研究～
【継続研究】 富田 健司	同志社大学 商学部 教授	創薬ベンチャーにおける知識商品のプロモーション戦略
【継続研究】 山家 智之 他5名	東北大学 加齢医学研究所 心臓病電子医学分野 教授	その広告は感動を与えるか? ～非侵襲多チャンネル顔血流からの定量診断システムの発明～

【大学院生の部】

代表者氏名	代表者現職	研究テーマ
馮 昕	慶應義塾大学 大学院商学研究科 後期博士課程	消費者クチコミ発話プロセスの解明 ～デコーディングとエンコーディングに注目して～
松井 彩子	一橋大学大学院 経営管理研究科 博士後期課程	非発言者に着目したSNS上の ブランドコミュニケーションメカニズムと対人影響の変化
福光 直美	広島大学大学院 社会科学研究科 博士課程後期	自然災害におけるリスク・コミュニケーションに関する研究 ～避難情報の伝達行為による影響を中心に～
【継続研究】 石川 洋行	東京大学大学院 教育学研究科 博士後期課程	1980年代消費記号論の知識社会学的分析

2021年度研究助成 募集のお知らせ

当財団では、2021年度研究助成の募集を開始します。広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等の研究を対象に審査の上、助成金を給付します。助成対象者は研究実施にあたり消費者調査を一定の枠内で利用いただけます。助成実施後、研究成果を評価し、優れた研究には「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

1. 研究助成の目的

“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等”に関する研究助成を通じてその理論・技術および知識・情報の普及・発展を図り、もって学術・文化・経済の持続的発展および一般消費者の利益の増進に資することを目的としています。

2. 助成対象者・助成金額・件数

上記分野の研究に携わる研究者で、助成を受ける期間中、大学に所属する者。

(1) 常勤研究者の部

[対象者] 大学に在職する助教以上の常勤研究者(個人またはグループ研究)

[助成金額] 単年研究300万円以内/件
継続研究400万円以内/件

[件数] 10件程度

(2) 大学院生の部

[対象者] 博士後期課程に在籍する大学院生(個人またはグループ研究)

[助成金額] 単年研究50万円以内/件
継続研究60万円以内/件

[件数] 10件程度

3. 研究課題

(1) 自由課題(上記分野に関連する研究課題を自由に設定)

(2) 指定課題

①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究

②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究

③パンデミックがもたらしたインパクトに関する研究

4. 研究期間

(1) 単年研究…1カ年以内 (2) 継続研究…2カ年以内

5. 研究支援のための消費者調査

当財団では、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。

6. 選考方法

14名の選考委員により選考の上、2021年3月下旬開催の当財団理事会で決定します。

7. 結果の発表

2021年4月上旬に応募者宛て個別に採否を通知します。

8. 研究成果の報告

常勤研究者の部では3万字程度以上、大学院生の部では2万字程度以上の研究成果を期限までに提出。

9. 応募手続

(1) 応募方法

申込書に必要事項を記入の上、財団宛て郵送またはEメールにてお送りください。

(2) 応募期間

2020年12月1日(火)~2021年1月12日(火) 必着

(3) 応募先・問い合わせ先

公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団

10. 助成研究吉田秀雄賞

優れた研究には選考委員会の審査により「助成研究吉田秀雄賞」が授与されます。

Editor's Note

教科書を開き「先生が黒板に書く内容を生徒が懸命にノートに写す」「真面目な学生のノートをコピー」……こんな風景はなくなる。授業コンテンツ、クラス指導、個別指導等を組み合わせて活用し、「インクルーシブ教育」への早期移行を期待したい。(傾)

大人になってからのほうが経験の幅も、移動の範囲も明らかに拡大しているのに、心に残っているのは、圧倒的に子ども時代の体験であることに気づきました。自分の想像以上に、子ども時代の学びや経験が大きな意味を持っていたことを実感しました。(葡萄)

パンデミックの中で、助成対象研究者が見せる柔軟な対応に脱帽しています。思えば、さまざまな制約あるいは思いどおりにならない研究結果を前にもがき、それでも前に進むのが研究者の真骨頂。その対応力は一朝一夕で培われたものではありません。(ひろた)

AD STUDIES 2020年10月25日号 通巻73号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
TEL : 03-3575-1384 FAX : 03-5568-4528
URL : <http://www.yhmf.jp>

発行人 岩下 幹
編集長 布施博嗣
編集部 岩本紀子、沓掛涼香
編集協力 プレジデント社
表紙デザイン 八木義博+畠山大介、中谷晴子(Creative Power Unit)
撮影 片村文人

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)
校正 株式会社ヴェリタ
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。